

知られざる野外美術の全貌。

山本裕司《氏神の祠》1988-89年 旧引佐郡引佐町渋川

あまつちこうさく

# 天地耕作 初源への道行き

2024 2/10 sat ~ 3/27 wed

10:00~17:30(展示室への入室は17:00まで)  
休館日=月曜休館、ただし2/12(月・祝)は開館し、翌日休館。

観覧料=一般1,000円(800円) 70歳以上500円(400円) 大学生以下無料  
\*( )内は前売及び20名以上の団体料金。\*収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。  
\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

主催=静岡県立美術館・静岡新聞社・静岡放送  
助成=  芸術文化振興基金

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

あまつちこうさく

**天**地耕作は、村上誠、渡の兄弟と、山本裕司の3名が協働で行った、美術制作のプロジェクトです。本展では、旧引佐郡(現 浜松市)を拠点に、1988年から2003年にかけて活動した天地耕作の軌跡をたどります。

天地耕作は、街中を離れた野外を主なフィールドに、木や縄、石や土などの自然物を素材として、大がかりな作品を制作しました。彼らは伝統芸能や遺跡などを、民俗学者や考古学者のように(あるいは彼らの言葉によれば蟻のように)フィールドワークし、生や死といった根源的なテーマに迫りました。しかしながら、時間をかけて築かれた、それらの耕作物(作品)は、公開期間やアクセスが限られていたため、現場を目撃した人は多くありません。

本展では天地耕作の活動の全貌を、写真作品や映像、貴重な資料で明らかにします。さらに、美術館の裏山では、未完となっていた2003年の野外作品のプランが実現され、天地耕作を目撃するまたとない機会となります。観客の多寡にかかわらず続けられた天地耕作の試みは、私たちを「芸術」の初源へといざなうでしょう。



村上誠・渡《産土ーその四》1994年 旧浜北市姥ヶ谷



村上誠《産土ーその七》1997-99年 旧引佐郡細江町気賀



村上誠・渡《産土ーその六》1991年 旧引佐郡引佐町谷下



「パフォーマンス《身体遊戯》での山本裕司」1994年 旧浜北市姥ヶ谷



山本裕司《墳墓ーその八》1997年 フィンランド・ラハティ



左から村上渡、山本裕司、村上誠(1997年、フィンランド)

あまつちこうさく

## 天地耕作とは

引佐郡(現 浜松市)細江町出身の村上誠、渡の兄弟と、同郡引佐町出身の山本裕司によって始められた美術制作のプロジェクト。山本は1981年から作品を発表しており、村上誠、渡はそれぞれ1983年から制作を始めていた。3名は1985年に出会い、やがてグループ展へ揃って出品するようになる。1988年から天地耕作が開始され、彼らの所有する地所や、採石場跡地など、野外で制作、発表を行った。また、1991年からは野外作品にパフォーマンスが伴うようになる。オーストラリア、フィンランドからも招へいされ、現地で制作、発表した(1992年、1997年)。彼らの活動は2003年まで続けられた。

## 関連イベント

※ワークショップおよびわくわくアトリエの申込方法・内容詳細は、約1ヶ月前に当館ウェブサイトまたは、館内配架チラシでお知らせします。

### 特別講演会1

「天地耕作を開袋／解体する」

2月18日(日) 14:00~15:30

講師: 山本浩貴氏(金沢美術工芸大学講師/文化学)

会場: 当館講堂

先着250名まで/申込不要/無料

### 特別講演会2

「円環が生まれ、壊れるとき」

2月24日(土) 14:00~15:30

講師: 赤坂憲雄氏(学習院大学教授/民俗学)

会場: 当館講堂

先着250名まで/申込不要/無料

### 館長美術講座

「あとに残さないことと残すことについて、美術篇」

3月3日(日) 14:00~15:30

講師: 木下直之(当館館長) 会場: 当館講堂

先着250名まで/申込不要/無料

### トークセッション

「天地耕作、から」

3月17日(日) 14:00~15:30

講師: 川田都樹子氏(甲南大学教授/美学)、

村上誠氏、村上渡氏、山本裕司氏

会場: 当館講堂

先着250名まで/申込不要/無料

### フロアレクチャー

2月10日(土) 14:00~ 40分程度

当館学芸員が本展の見どころを紹介します。

申込不要/要観覧券

### 未就学児向けワークショップ

「みる・とる・つくる —カメラであそぼう—」

3月9日(土)、10日(日) 10:00~12:00

講師: 村上誠氏 会場: 当館実技室、美術館外周辺

対象: 5歳以上の小学校就学前の子どもと保護者

9日は保護者と一緒、10日は子どもたちだけで活動します。2日間にわたる活動です。

要申込

### わくわくアトリエ「新木に願いを描こう」

2月25日(日) 講師: 山本裕司氏 会場: 当館実技室 対象: 小学生から大人まで 要申込

### パフォーマンス「遊芸」

3月24日(日) 17:00開演(予定)(16:30受付開始) ※荒天の場合は中止。少雨の場合は実施。

出演: 村上誠氏、村上渡氏、山本裕司氏、森口紋太郎氏(音楽)

実施時間1時間程度/静岡県立美術館裏山遊歩道そば/定員50名程度(応募者多数の場合は抽選)/

無料/要申込/会場の足場が悪いため、未就学児のご入場はご遠慮ください。

申込方法: (1)ふじのくに電子申請サービス(1月中旬頃、当館ウェブサイトで案内)、

(2)往復ハガキ(往信面裏に①参加者氏名[2名まで]②電話番号③郵便番号・住所を、返信面表に

返信先をご記入の上お送りください。)

[送付先]〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 静岡県立美術館 天地耕作展パフォーマンス係

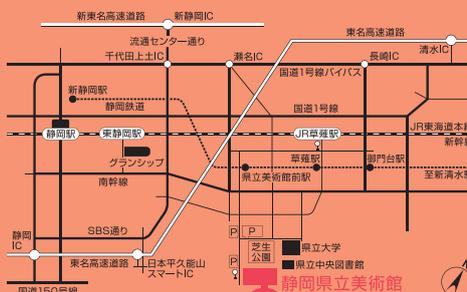
申込期間: 2月1日~2月29日 必着

同時開催 本展関連企画 収蔵品展「静岡の現代美術と1980年代」2024年2月10日(土)~4月7日(日) 会場: 当館第6,7展示室

次回展覧会「テオ・ヤンセン展」2024年4月13日(土)~7月7日(日) 静岡市美術館展覧会のご案内「高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの」2023年12月27日(水)~2024年3月31日(日)

◆ チケット販売所 前売り券は2024年2月9日(金)まで販売  
[前売・当日券] チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通: 686-640)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通: 42841)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館  
[前売券のみ] 大和文庫、戸田書店(江尻台店)、谷島屋(パルシェ店)・マークイズ静岡店、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

◆ 交通案内  
・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分  
・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分  
・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分  
・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分  
・東名高速道路・日本平久能山スマートICから車で約15分  
・静岡IC、清水ICから車で約25分  
・新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分



静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2  
https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp  
企画総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767  
学芸課 Tel. 054-263-5857